

農村の資源守る活動で表彰

問 谷和原庁舎産業経済課 ☎58 - 2111 (内線3105)

受賞した青古新田活動組織の皆さん



第11回茨城県美しい水土里づくり優良活動表彰の表彰式が2月1日、茨城県県民文化センター（水戸市）で開催され、本市の「青古新田活動組織」が優良表彰を受賞しました。

この表彰では、農村地域の資源を守り、農地、農業用水、風景または伝統文化などを将来にわたり良好な状態で管理を行うため、地域一丸となって取り組んでいる組織を表彰しています。

青古新田活動組織では、日頃の活動のほか、芝桜による景観形成および伝統文化の継承活動が他地区の模範となる活動内容と認められての受賞でした。

受賞を受け、青古新田活動組織の齊藤代表は「日ごろの活動の積み重ねが評価され、大変嬉しく思います。今後も青古新田一丸となって、古き良き農村地域の資源を保全・管理していきたいと思っております」と話してくださいました。おめでとうございます。

認知サポ養成数、部門日本一に

問 伊奈庁舎介護福祉課 ☎58 - 2111 (内線4305)

表彰式に参加したキャラバン・メイトの皆さんと市事務局職員



認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り支援する応援者をいいます。市では、この認知症サポーターを増やすため、養成事業に取り組んでいます。

このたび、本市の取り組みが評価され、優良自治体として全国キャラバンメイト連絡協議会から表彰されました。この表彰は、1年間に養成された認知症サポーター数について、総人口に占める割合の値が最も高い市区町村を表彰するものです。今回、本市は4つの区分のうち「人口20万人未満5万人以上の部」で日本一に輝き、表彰されました。

2月2日に砂防会館別館（東京都千代田区）で開催された表彰式には、本市の認知症サポーター養成講座で講師を担う「キャラバン・メイト」の皆さんも出席し、受賞を喜び合いました。キャラバン・メイトは、地域住民や介護職員がボランティアとして活動しています。

勉強会にはさまざまな職種の人々が参加し、連携を深めます



こんにちは！ 地域包括支援センターです！

問 地域包括支援センター（伊奈庁舎内） ☎57 - 0203

■第14回「多職種連携」

2025年には、団塊の世代が75歳以上になり、4人に1人が75歳以上の後期高齢者になると言われています。

地域包括支援センターでは、高齢者になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から高齢者やその家族を支援しています。

そのために、普段から、医師・歯科医師・看護師・薬剤師などの医療職やケアマネジャーなどの介護職、民生委員や行政などの多職種と連携をとっていきます。

たとえば、定期的に、医師や歯科医師、看護師、薬剤師、ケアマネジャー、介護事業者が集まり、専門医と一緒に疾患や医療・介護について勉強しています。

また、支援が難しいケースは多職種で話し合い、専門的な意見を取り入れ、スムーズに支援ができるように連携をしています。

これからも勉強会や研修会などを通じて多職種と連携を深め、高齢者とそのご家族を支援していきます。